



消防団広報誌
平成29年2月

第5号

上山市消防団
活性化推進委員会
発行

まもる

safeguard



新年祝賀放水（眉川橋上）



分列行進（車両隊）



式典（カミン前）

—平成29年 上山市消防出初式—

平成29年上山市消防出初式が1月8日（日）に、二日町カミン前を会場に盛大に行われました。今年、例年にない快晴に恵まれ、消防団員約350名、消防車両20台による分列行進を行いました。

祝賀放水では、新春の清々しい青空に放水のアーチが架かると、市民から歓声が上がりました。

消防団、あれこれ!!

今回は日ごろの活動と、
新しいポンプ庫を紹介します



初期消火訓練



ポンプ運用訓練

私たち消防団員は火災や水害などに備え、毎年、消防署員や、各地区の防災会の皆さんと連携し講習会を行っております。

今回の写真は、第10分団山元地区で行われた訓練の様子です。災害時に使われる技術の向上を目指し、真剣に取り組んでいます。



警防講習



久保手のポンプ庫が
新しくなりました

団員・家族親睦貸し切りナイトスキー開催!!



2月25日(土)に、蔵王猿倉スキー場にて団員と家族の方を対象にした貸し切りナイトスキーが開催されます。昨年は、スキーワンポイントレッスンや子ども達のそり競争などで大変盛り上がりました。今年もたくさんの団員・家族のみなさんのご参加をお待ちしております。



今回は、消防団のポンプ庫を紹介します。協力していただいたのは、今年新しく建て替えになった第3分団久保手です。ポンプ庫の中には消防車両やポンプなど、活動に必要な資器材があり、中は綺麗でちゃんと整頓されています。

一見、どこのポンプ庫も同じに見えますが、歴代受け継がれたものや地域の特徴にあった災害用資器材など、各部の特徴があります。

昔ながらの伝統行事【壬辰】

【壬辰】の由来

みなさんは『壬辰（みずのえたつ）』という行事をご存知ですか？

消防団では火伏の行事として特に大切にされてきました。

『壬辰』の由来について紹介いたします。

◆「壬（みずのえ）」＝「水（みず）の兄（え）」と考えられた。

◆「辰（たつ）」＝龍神とされ、雨や風を自在に操る存在。

その2文字の組み合わせが年の初めの最初の壬辰にあたる日を「水」の恵みがあり、「龍神」が守ってくれる日と考え火伏の日と信じられてきました。

また風習では、水神様が「丙（ひのえ）辰（たつ）」の日に天に昇り「壬（みずのえ）辰（たつ）」の日に降りてくるという信仰があり、その日に水神様を祀ると御利益を受けるとされています。また、「獅子頭」から囃んでもらった水を屋根に撒くと水神様から護ってもらえるという地域の風習もあるようです。



雪の中放水を行う



団員が火伏の御札を渡す

～上山市山岳遭難搜索救助訓練～

2年に一度、冬山・春山シーズンにおける遭難事故発生時の救助に関する知識と技術の向上を図るため、第6分団、第8分団は様々な機関、団体と合同訓練を行っております。



県境付近の標識を撮影



遭難者搜索訓練



カンジキを履いて訓練に臨む

消防団の主な年間行事（平成28年度）

4月 辞令交付式、春季消防演習

10月 市総合防災訓練、秋季消防演習

6月 水防工法講習会

1月 消防出初式

7月 消防操法審査会

様々な行事に取り組みました。



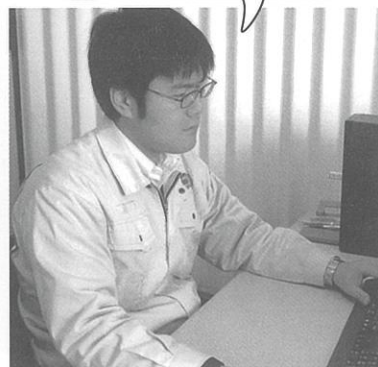
井上一真さん
(久保手)



今年、消防団員になり改めて自分が地域の一員なのだと思います。これからは消防団員としての自覚を持ち、先輩たちのように地域に貢献していけるように努力し、少しでも早く活躍できるように頑張っていきたいです。

新入団員紹介

稲葉洋希さん
(中山)



消防団活動に積極的に参加して様々な知識を吸収し、自分を高めるとともに、地域に貢献できる消防団員として頑張っていきたいと思います。

河合優太さん
(裏町)



先輩方のようにメリハリをしっかりと消防活動に励みたいです。そのためには日頃からしっかりした生活態度で行動していきます。



☆ 八千代食堂さん

日頃からの予防消防活動で苦労様です。

これからもご活躍を期待しております。



☆ やぶいちさん

いつも地域のためにご尽力いただきありがとうございます。消防団なくして地域の平和はありません。

これからもよろしく願います。



☆ おいわけさん

地域の安全のために活躍する消防団の方々、本当にご苦労様です。

今後の活躍にも期待しています。

消防団サポート事業所から激励が届いております。その声を登録順に紹介しております。

事業所からの声

副団長	土屋 博幸	第6分団	木村 芳彦
団本部	鏡 伸也	第7分団	佐竹 一祥
ラッパ隊	細川 一広	第8分団	木村 直基
第1分団	鈴木 保	第9分団	安部 徳朗
第2分団	石井 茂治	第10分団	長橋 直弘
第3分団	鈴木 亮		
第4分団	大場 幹生		
第5分団	木村 巧		



編集委員

編集後記

第5号の発刊にあたり、取材にご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

蔵王猿倉で行われる「消防団ナイタースキー」に大勢の団員の家族、友人の参加をお待ちしております。

各地域で行われている伝統行事、壬辰を通じて、無火災、無災害であることを願います。
火の用心『カン、カン』

問い合わせ先 上山市消防本部 庶務係
TEL 023-672-1190

